

第 10 回日本小児へそ研究会

会長 奥山宏臣 大阪大学小児成育外科

会期 2024 年 4 月 19 日

会場 AICHI SKY EXPO(愛知県国際展示場)

テーマ 「へそから始まる小児外科」

2015 年に始まった本研究会も 10 回という節目を迎えます。これまで歴代の日本外科学会学術集会会頭の皆さんのご厚意に支えられて、その片隅で開催されてきましたが、今回も小寺泰弘(名古屋大学大学院消化器外科学)会頭にご快諾いただき、無事開催する運びとなりました。Local Organizer は名古屋大学小児外科の内田広夫先生にお願いしました。“へそ”をテーマにするというマニアックな研究会が 10 年間続いた理由の一つは、外科学会という大きな学術集会の中で、極少数派である小児外科の先生方に参加していただき、その懇親の場となってきたことが挙げられます。ただやはりそれだけではないと思います。小児外科の手術を改めて考えてみれば、臍ヘルニアや尿管管遺残といった“へそ”そのものの疾患だけでなく、へそから始める手術が実に多いことに気づかされます。鼠径ヘルニア、虫垂炎に始まり、腸閉鎖、幽門狭窄など思いっくだけでも多くの疾患があり、あらゆる年齢にもまたがっています。“へそ”は我々小児外科医にとって、欠くことのできない重要なアクセスルートでもあります。そこで今回のテーマは、「へそから始まる小児外科」としました。文字通り、“へそ”から始まる手術だけでなく、本研究会の初心に戻って“へそ”の手術を考えようという思いも込めました。今回の会場は名古屋市内から少し離れていますが、「常滑市から始まる小児外科」という感じで、多くの皆さんにご参加いただけましたら幸いです。